

登録コード	J5140300	開講年度	2026				
授業科目	医療制度論					担当教員	増原 宏明
英文授業名	Health Care System					副担当	
単位数	2	講義期間	後期（随時）	曜日・時限	集中・不定期	対象学年	（20カリ対象科目）経：3年/法：3年
講義室				授業区分	e-Learning	遠隔授業科目	該当
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」					⇔	【授業の達成目標】
	経法20加						
	経済学または法学が積み上げてきた知識と思考に基づく判断を基礎力として身につけ、それを発揮できる力を身につける。					⇔	専門領域での基礎知識として、医療制度を経済学的思考に基づき、説明できるようになる。
	経法20加・応用経済						
	専門知識を応用・実践する力として、計量的分析手法によるデータ解析を用いたリスクの定量的評価、実験経済学による社会制度の機能の検証、医療や福祉の現場における社会調査の手法を実践した地域の問題発掘、法の経済分析を通じた法制度の効果・影響の検証、などのスキルを習得し、経済の実情に即した政策提言、あるいは企業行動の決定を行うことができる能力を身につける。					⇔	専門知識を応用・実践する力として、医療制度改革の狙いを論理的に批判できるようになる。
(2)授業で学べる「テーマ」	健康長寿						
(3)全学横断特別教育プログラム	ローカル・イノベーター養成コース、ライフクリエイター養成コース						
(4)授業の概要	医療制度には、主に需要者側（患者側）に向けられるものと、供給者側（医療機関側）に向けられるものがあります。この授業では、医療経済学では触れることのできなかった医療制度をより詳細に触れ、医療制度を構造的に理解します。前半部分では、主に患者側に課される医療制度、医療保険制度を把握します。医療経済学では触れることのできなかった、医療保険改革の近年の動向などもみていきます。授業の中盤では主に供給者側に課される医療制度を把握します。医療経済学では概念的にしか説明できなかった診療報酬や薬価基準を実例を織り交ぜながら、理解します。さらに、DPC/PDPSについても、DPCコードやそれに紐づいた1日あたり点数を実例により把握し、医療機関のインセンティブ構造も明らかとします。最後に、2020年以降に大きな影響を受けた、新型コロナウイルス感染症が、人々と医療機関に果たした影響を、厚生労働省の政策を振り返りながら分析します。 本授業は、オンラインオンデマンド授業となります。講義資料と動画はeALPSに掲載します。						
(5)授業計画	第1回 国民医療費の動向と地域差 第2回 医療保険制度の復習 第3回 後期高齢者医療制度と介護保険制度の復習 第4回 医療保険制度の変遷 第5回 医療保険改革の動向 第6回 医療機関と医療職の復習 第7回 診療報酬制度と薬価基準：準備編 第8回 診療報酬制度と薬価基準：実践編 第9回 DPC/PDPS：準備編，小テスト 第10回 DPC/PDPS：実践編 第11回 医療計画と地域医療構想 第12回 感染症法と新型コロナウイルス感染症 第13回 新型インフルエンザ等特別措置法と新型コロナウイルス感染症 第14回 新型コロナウイルス感染症への予算措置 第15回 まとめ，授業アンケート 期末試験						
(6)成績評価の方法	【授業の達成目標】の1番目に記載された達成度を測るために、基礎的な知識の定着を確認する小テストを1回行う（30%）。続いて、【授業の達成目標】の1番目と2番目の達成度を測るため、基礎的な知識を用いて、医療制度に関する問題をすじみち立てて解決する方法を問う期末試験（70%）で評価を行う。						
(7)成績評価の基準	小テストと同レベルの問題が解ければ「水準にある」、応用問題が解ければ「やや上にある」、やや難しい応用問題が解ければ「かなり上にある」、難しい応用問題が解ければ「卓越している」						
(8)事前事後学習の内容	予習・復習用の授業レジュメを、eALPSにPDFファイルでアップする。各自で印刷して持参するか、ノートパソコンを持参すること。レジュメは穴埋め式となっているので、予習として1.5時間かけて穴埋め以外の項目について目を通すこと。講義後には穴埋めされたレジュメを復習し、授業で説明した概念を自らの手で再度まとめるとともに、時間の関係で説明を省略した部分を自ら調べること（1.5時間）。						
(9)履修上の注意	前期の医療経済学で説明する医療制度の知識を前提としますので、医療経済学も同時並行で履修してください（すでに医療経済学を履修された人は結構です）。小テストを受験しないと、単位取得はきわめて厳しくなります。授業に出席して、きちんとノートをとってください。 本授業は、オンラインオンデマンド授業となります。講義資料と動画はeALPSに掲載します。						
(10)質問,相談への対応	個別の質問は、オフィスアワーに研究室に来てください。オフィスアワーが無理な場合には、事前にメールでアポイントメントを取り、来室してください。						
【教科書】	指定しない。						

【参考書】	細谷圭・増原宏明・林行成，医療経済学15講，978-4883842841，新世社，2018年，2,592円。 棕野美智子・田中耕太郎，はじめての社会保障〔第22版〕：福祉を学ぶ人へ，978-4641222496，有斐閣，2025年，1,980円。 井伊雅子，地域医療の経済学：医療の質・費用・ヘルスリテラシーの効果，978-4766429589，慶應義塾大学出版会，2024年，3,300円。 鈴木亘，医療崩壊 真犯人は誰だ（講談社現代新書），978-4065264171，講談社，2021年，946円。
-------	---